

第 1 2 章 環境基本計画

第12章 環境基本計画

1 環境基本計画の概要

第2次環境基本計画では、「人に自然に やさしさあふれる環境都市 ひかり」を環境像に、「自然共生社会の実現」、「低炭素社会の実現」、「循環型社会の実現」の3つの基本方針のもと、次の5つを重点施策（リーディングプロジェクト）に市民、事業者、市の三者が協働で取り組むこととしています。

計画の期間は、平成25年度を初年度とし、平成34年度を目標年度とする10年計画です。ただし、本計画の行動計画であるリーディングプロジェクトについては、5年を目途に見直しを行います。また、本計画の対象となる主体は、市民・事業者・市で、市民にはNPO等市民団体、本市への通勤・通学者、滞在者及び通過者も含まれます。本計画の対象範囲は、自然環境、文化環境など、日常生活の環境から地球規模の環境まで全ての範囲を対象としています。

2 環境基本計画の進捗状況

リーディングプロジェクトの平成27年度の取組み状況及び指標の達成状況については、次のとおりです。

(1) 光ソーラーCITYプロジェクト

ア 取組み状況

施策・事業の展開例／所管課	施策・事業の概要	平成27年度取組状況
住宅用太陽光発電システムや太陽熱利用システムの導入促進 ／環境政策課	地球環境への負荷低減等を目的に、自らが居住する住宅に太陽光発電システムや太陽熱利用システムの設置を促進する。	省エネ生活普及促進事業（エコライフ補助金）を実施し、住宅用太陽光発電システムや太陽熱利用システム設置に対する補助を行った。 ・太陽光発電システム補助件数 64件 ・太陽熱利用システム補助件数 2件
公共施設への太陽光発電システムや太陽熱利用システムの導入促進 ／環境政策課 ／関係各課	地球環境への負荷低減等を目的に、公共施設への太陽光発電システムや太陽熱利用システムの設置を検討・促進する。	室積コミュニティセンター及び農業振興拠点施設「里の厨」にそれぞれ10kWの太陽光発電システムを設置した。また、地域づくり支援センターへの設置に向けた実施設計を実施した。
事業所用太陽光発電システムの導入促進の検討 ／環境政策課	地球環境への負荷低減等を目的に、事業所用太陽光発電システムの導入促進について検討する。	固定価格買取制度の開始により、システムの導入環境が改善されたことなどから導入促進の必要性が低下しており、現時点での事業化は困難と判断した。

地域特性にあった自然エネルギー資源の活用方策の研究 ／環境政策課	地域特性にあった自然エネルギーの新たな活用に関する取組みを調査・研究する。	再生可能エネルギーの活用に関する知識や理解を深める場を市民に提供し、持続可能な社会づくりに向けた機運の醸成を図るため、「再生可能エネルギーセミナー」を2回開催した。 調査・研究の成果として、今後の方向性についての一定の考え方の整理を行った。
メガソーラー発電所の進出促進 ／商工観光課 ／環境政策課	情報収集を行うとともに、庁内関係各課が連携し、メガソーラー発電所の進出を促進する。	ゴルフ場跡地にメガソーラー発電所を立地する事業者に対し、必要に応じて、地域住民等との連絡調整や情報提供を行った。

イ 数値目標

環境指標	策定時 (H24)	近況値 (H27)	目標値 (H29)	達成率
住宅用太陽光発電システム設置の普及率(3月末)	5.4%	9.7%	10.0%	97.0%
公共施設における太陽光発電システムの設置件数	8件	11件	13件	84.6%

(2) STOP地球温暖化プロジェクト

ア 取組み状況

施策・事業の展開例／所管課	施策・事業の概要	平成27年度取組状況
電気自動車等の低公害車の導入及び普及 ／総務課 ／環境政策課 ／関係各課	公用自動車への電気自動車等の低公害車の導入による普及・啓発を図る。	農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器について、利用者アンケート調査における実証事業の結果などから、今後のインフラ整備のあり方を検討した。 公用自動車に新たに電気自動車を2台導入した。
地域公共交通の充実及び利用促進 ／商工観光課	交通事業者等との連携によるバスなどの公共交通機関の充実を図る。	室積地区(伊保木)におけるコミュニティ交通事業を継続実施した。 県下一斉ノーマイカーデーに協力した。「エコマルチャレンジデー」において、市営バスの一定期間無料運行を実施した。
市域全体での省エネルギー運動の推進 ／環境政策課	各主体が連携・協働し、市域全体での省エネルギー活動を推進する。	市域全体でCO ₂ などの温室効果ガスの削減や環境問題に対する意識の醸成などのエコライフを促進するため、12月を「市域全体での省エネルギー運動」に取り組む月間とし、特に12月第3日曜日を重点行動日「エコマルチャレンジデー」と位置付け、啓発活動や省エネルギー活動キャンペーン、市営バスの一定期間無料運行などを実施した。

省エネルギー製品の導入促進 ／環境政策課	地球環境への負荷低減等を目的に、自らが居住する住宅に省エネルギー製品の設置を促進する。	省エネ生活普及促進事業（エコライフ補助金）を実施し、既存住宅への省エネルギー設備（蓄電池やエネファーム、二重サッシ、LED照明設備など）の設置に対する補助を行った。 ・省エネルギー設備補助件数 169 件
街路灯の省エネルギー化の推進 ／生活安全課 ／関係各課	水銀ランプから高圧ナトリウムランプへの改良を促進する。	各施設において順次改良を行った。 ・街路灯 812 本 中省エネ製品 172 本
緑のカーテンの普及促進 ／環境政策課	公共施設への設置や緑のカーテンコンテストの実施など、普及促進を図る。	本庁舎やあいば一く光、各小中学校などに緑のカーテンを設置するとともに、その成果を発表するパネル展示を市内3か所で行った。
地球温暖化に関する環境学習の推進 ／環境政策課	環境意識の向上を図るため、地球温暖化に関する講座を実施する。	小学校の総合学習の時間等に講師を派遣し、環境学習の支援を行う「環境学習支援事業」の学習分野「地球温暖化」に対し、地球温暖化対策地域協議会会員を講師に環境学習を実施した。 ・実施回数 4 回
市の率先行動（エコオフィスプラン）による地球温暖化対策の推進 ／環境政策課	本市の事務・事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制の取組みを進め、地球温暖化対策の推進を図るとともに、職員の環境意識の向上に務める。	本庁及び出先機関からの温室効果ガスの総排出量を、平成21年度比で5%削減するという全体的な削減目標を▲9.2%で達成した。個別目標では、全ての項目において平成21年度比5%削減を達成した。 個別目標実施結果 ・電気▲7.8%・水道▲5.4%・燃料▲13.6% ・LPG▲23.0%・可燃ごみ袋▲18.4%
地球温暖化対策地域協議会の活動支援 ／環境政策課	環境意識の向上と地域の温室効果ガスの削減を目指し、活動を支援する。	市との共催事業として、環境学習や再生可能エネルギーセミナー、市域全体での省エネルギー運動などを実施した。

イ 数値目標

環境指標	策定時 (H24)	近況値 (H27)	目標値 (H29)	達成率
市域全体からの温室効果ガス排出量（推計値）	1,948 千t-CO ₂ (H22)	1,544 千t-CO ₂ (H25)	1,867 千t-CO ₂	120.9%
市の施設からの温室効果ガス排出量	9,503 t-CO ₂	8,839 t-CO ₂	9,027 t-CO ₂	102.1%
公用車における低公害車の導入率（3月末）	8.1%	11.2%	15.0%	74.7%

街路灯の省エネルギー化率（3月末）	12.3%	21.2%	35.0%	60.6%
省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度※	42.1%	—	60.0%	—

※環境基本計画策定時に行った「環境市民アンケート」の数値であり、アンケート実施年のみ値有り。

（3）人と自然のハーモニープロジェクト

ア 取組み状況

施策・事業の展開例／所管課	施策・事業の概要	平成 27 年度取組状況
森林経営計画に基づく整備・保全 ／水産林業課	計画的な造林や保育等により、森林の適正な管理・保全を推進する。	室積・光井・島田・立野・小周防の光（中）団地の約 660ha と室積の東部区域を中心とした光（東）団地の約 90ha の森林経営計画を策定した。
自然環境や景観と調和した光漁港海岸（室積海岸）の保全対策の推進 ／水産林業課	台風等により浸食された海岸の保全対策や高潮対策を推進する。	室積海岸侵食の動向を確認するため、再度の試験養浜を行うとともに、2 回の現地測量を行い、以後の室積海岸侵食防止対策方針を決定するための業務を一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所へ委託し実施した。また、高潮対策の高潮堤防工事を行った。
貴重な動植物の保護・育成 ／水産林業課 ／文化・社会教育課	モクゲンジ等天然資源の保護・育成を推進する。	モクゲンジの開花状況とタブノキの生育状況を確認した。ヒトツバハギについては、生育状況を確認するとともに、保護を目的とした周囲の草刈りを実施した。
鳥獣被害防止対策の推進 ／水産林業課	イノシシやサル等有害鳥獣の捕獲や農地等への防護柵設置等、被害防止対策を推進する。	有害鳥獣の捕獲を行うとともに、農地等への防護柵設置等の被害防止対策の補助を行った。 ・捕獲数 イノシシ 216 頭、サル 1 頭 ・補助件数 96 件
環境学習・自然体験学習等の推進 ／環境政策課	自然体験型学習の実施し、自然に対する保全意識などの高揚を推進する。	自然環境の素晴らしさや環境保全の大切さを学ぶ「ひかりエコ自然塾」2 回実施した。 ・「エコ自然塾」参加者 38 人
特定外来生物対策の推進 ／環境政策課	生態系のバランスを保つため、特定外来生物の拡散防止対策を推進する。	特定外来生物指定のアルゼンチンアリについて、生息域である室積地区 4 自治会の各世帯にベイト型殺虫剤を配布して一斉防除を実施するとともにモニタリング調査を実施した。
自然環境を活かしたスポーツ・レクリエーション活動の推進 ／体育課 ／関係各課	自然環境を有効に活用し、市民のレクリエーション活動を推進する。	平成 26 年度に新市誕生 10 周年記念事業として実施した「藤公の里ふれあいウォーク」を引き続き開催した。 ・「ふれあいウォーク」参加者 92 人

白砂青松 10 万本 大作戦の推進 ／水産林業課	松の植栽を通じて、自然敬愛を広く呼びかけるとともに、海岸松林の整備による潤いと安らぎの場の充実のため、市民との協働による黒松植栽・松林管理を実施する。	室積・虹ヶ浜海岸松林において市民ボランティアによる黒松植栽及び松林の保全管理を実施した。 ・黒松植栽本数 430 本 (全体数 42,020 本、平成 28 年 3 月 31 日現在)
どんぐりランドの 整備 ／水産林業課	どんぐりの森を整備するため、「どんぐり・まつぼっくり教室」の開催やクヌギの植栽などを実施する。	「どんぐり・まつぼっくり教室」を開催し、参加者に対して森林学習や種まき・植栽体験等を行い自然の大切さについての啓発を行った。 ・参加者 25 人 (9 家族)、クヌギ苗木植栽 20 本
市民の森自然観察 林の整備 ／水産林業課	市民の森自然観察林の整備による自然に対する保全意識の高揚を図る。	維持管理として、12 か所の下刈や樹木の剪定及び枯損木の伐採を実施した。 ・維持管理 下刈 8.83ha、剪定 1,535 m ² 枯損木伐採 130 本
安全でおいしい水 の安定的供給 ／水道局	安全でおいしい水の安定的供給に努める。	水道水の安定供給のため、老朽管の布設替え及び耐震化を進めた。 ・布設替え 5.7km ・耐震管率 34.5% (H26 は 32.4%)
公共下水道の普及 等による水環境の 保全 ／下水道課	公共用水域の水質保全と市民の生活衛生環境の向上を図るため、公共下水道の計画的整備や浄化槽の設置を促進する。	室積地区を中心に公共下水道の整備促進を図り、処理区域面積の拡大と普及率の向上を図った。 ・平成 27 年度末処理区域面積 964ha (前年度末 939ha) ・平成 27 年度末普及率 79.6% (前年度末 79.1%) 生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、浄化槽設置に対する助成を行った。 ・下水道認可区域外 22 基 ・下水道認可区域内 5 基
公害防止対策の推 進 ／環境政策課	大気・水質等に対する環境監視・指導体制の整備や企業等との協定による公害防止対策を推進する。	大気・水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応について徹底した。
無電柱化による歩 行環境の整備 ／道路河川課	国道の無電柱化を推進する。	計画区間までの施設整備を完了した。

イ 数値目標

環境指標	策定時 (H24)	近況値 (H27)	目標値 (H29)	達成率
竹林の面積 (3 月末)	413 ha	363 ha	400 ha	110.2%
環境学習・自然体験学習等の開催数	8 回	8 回	10 回	80.0%
山や森林などの自然の緑の美しさに関する満足度※	81.1%	—	90.0%	—

鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度※	77.4%	—	90.0%	—
森・川・海などの自然とふれあっている人の割合※	60.4%	—	70.0%	—
生活環境の快適さ（騒音や悪臭などが無いこと）に関する満足度※	75.6%	—	85.0%	—

※環境基本計画策定時に行った「環境市民アンケート」の数値であり、アンケート実施年のみ値有り。

(4) MOTTA INAI プロジェクト

ア 取組み状況

施策・事業の展開例／所管課	施策・事業の概要	平成 27 年度取組状況
もったいない文化の醸成 ／環境政策課 ／環境事業課	ふろしきを「もったいない」のシンボルとして普及を図り、日本古来の伝統である「もったいない文化」を継承し、地球環境に負荷をかけないライフスタイルの普及を図る。	ふろしきを「もったいない」のシンボルとして普及させるため、環境政策課において、季節ごとのふろしき活用法を展示した。
生ごみリサイクルの推進 ／環境事業課	「段ボールコンポスト」などを活用した生ごみの堆肥化を推進するとともに、地産地消運動とリンクした新たな生ごみリサイクルの構築に努める。	生ごみの減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して、助成を行った。 ・電動式生ごみ処理機 13 件 ・コンポスト容器 5 件 ・段ボールコンポスト 61 件
不用品交換システムの充実 ／環境事業課	市民の不用品情報や近隣フリーマーケット情報の提供など、リユースを推進するシステムの充実を図る。	ごみの抑制や再使用を促進するための不用品交換システム、リユースネットひかりを実施した。 ・譲ります 登録 110 件、成立 58 件 ・譲ってください登録 105 件、成立 32 件 子ども用品を扱うリユースキッズひかりを実施した。 ・登録 141 件、成立 112 件
紙製容器包装等の再資源化の促進 ／環境事業課	焼却処分している再資源化可能な紙製容器包装類についての再資源化方策について検討する。	資源回収品のうち、紙製容器包装類の収集単価を高くし、再資源化の促進を図った。 ・資源回収量 729 t
事業者等のごみの発生抑制や減量、再資源化の促進と支援 ／環境事業課	エコショップ認定制度の充実など事業者等の自主的な取組みを促進する。	エコショップ認定店 12 店舗
世代に応じた環境学習の推進 ／環境事業課	正しい分別や環境意識の向上を図るため、各世代に対する要望に応じた環境学習を実施する。	世代に応じた環境学習を実施した。 ・幼児園児 7 保育園 3 幼稚園 ・小学児童 12 小学校 ・一般に向けたごみ分別出前講座 12 団体

市民ニーズに対応した収集サービスの実施 ／環境事業課	市民ニーズに対応したごみ収集システムの確立に努める。	分解して排出することが困難な可燃粗大ゴミ等を個別訪問し、収集した。また、祝日収集（ハッピーマンデー）を3日実施した。 ・収集件数 628 件 1408 品
ごみ処理の有料化 ／環境事業課	光市廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえ、施設を使用している周南市・下松市の状況をはじめとする各市町の現状等について調査・研究に努める。	平成 24 年度末の審議会において、関係市の導入意向がないことから、当面先送りで承認している。
有機性廃棄物の堆肥化 ／農業耕地課	有機性廃棄物の堆肥化について、調査・研究を行う。	先進事例の調査・研究から、費用対効果や安定的な利用先の確保等に課題があり、現時点での事業化は困難と判断した。

イ 数値目標

環境指標	策定時 (H24)	近況値 (H27)	目標値 (H29)	達成率
1 人 1 日あたりのごみの排出量	965 g	974 g	900 g 以下	92.4%
リサイクル率	28.3%	28.8%	32.0%	90.0%
ごみの最終処分量	1,462 t	1,320 t	1,200 t 以下	90.9%
資源回収・リサイクルの状況に関する満足度※	76.5%	—	85.0%	—
使い捨て製品の購入を控える人の割合※	73.3%	—	85.0%	—
生ごみの堆肥化や減量を行っている人の割合※	49.1%	—	60.0%	—
不用品のバザーやフリーマーケットに参加している人の割合※	41.1%	—	50.0%	—

※環境基本計画策定時に行った「環境市民アンケート」の数値であり、アンケート実施年のみ値有り。

(5) まち美化パートナーシッププロジェクト

ア 取組み状況

施策・事業の展開例／所管課	施策・事業の概要	平成 27 年度取組状況
クリーン光大作戦の推進 ／文化・社会教育課	市民の自然敬愛精神の醸成と青少年の社会参加活動の促進のため、年 1 回河川・海岸及び自治会内道路等の清掃活動を実施する。	第 42 回クリーン光大作戦を 7 月 12 日に実施した。 ・参加人数 14,149 人 (雨天順延により 19 日に実施した地区を含む。)

アダプト・プログラムの推進 ／地域づくり推進課 ／関係各課	環境美化ボランティア・サポート事業により、身近な道路や公園を地域で管理するアダプト・プログラムの推進を図る。	「新日鐵住金熱押環境グループ」、「浅江小おやじの会」の2団体が参加し、事業実施団体が計16団体となった。
市民参加による緑化活動の推進 ／都市政策課 ／関係各課	市民の自主活動による花と緑の保全活動を推進する。	市民参加による緑化活動を推進するため、花壇コンクールや誕生記念植樹を開催し、公園や花壇、公共施設などの緑化を図った。 ・花壇コンクール参加団体 79団体 ・誕生記念植樹 植樹本数 メインツリー ソメイヨシノ 1本 記念植樹 ソメイヨシノ 90本
犬の飼い方教室の実施 ／環境政策課	「動物の飼い方マナーアップ強化期間」に合わせ、愛犬のふん害やむだ吠えなどの対応として「犬の飼い方教室」を実施する。	飼い主のマナー向上と犬の正しいしつけをするため、光市民ホール前庭で「犬の飼い方教室」を実施した。 ・「犬の飼い方教室」参加人数 45人
自然海岸の清掃活動の実施 ／文化・社会教育課 ／関係各課	市民との協働による自然海岸の清掃活動を推進する。	海岸のゴミ拾いや草刈りなど、クサフグ産卵地の清掃活動を行った。
街路樹や植樹帯の整備 ／都市政策課	都市環境の保全を図るため、街路樹や植樹帯の適正な維持管理を実施する。	花と緑のやすらぎあるまちづくりを推進するため、植樹帯の除草や街路樹の刈込み、剪定や伐採、消毒などを行い、街路樹や植樹帯の適正な維持管理を実施した。
街区公園、近隣公園等の整備 ／都市政策課	安全で快適に利用できる街区公園、近隣公園等の整備を行う。	安全で快適な街区公園等を提供するため、樹木の刈込み、剪定、伐採、除草、トイレ清掃等を行うとともに、遊具の安全点検や施設の修繕など公園の適正な維持管理を実施した。 ・近隣公園 1箇所 ・街区公園 28箇所
市民参加による景観形成の推進 ／都市政策課	市民との協働による景観の保全と形成を推進する。	良好な景観の保全と形成を進めるため、「光市景観計画」及び「光市景観形成ガイドライン」の周知を図った。

イ 数値目標

環境指標	策定時 (H24)	近況値 (H27)	目標値 (H29)	達成率
クリーン光大作戦の参加者数	20,553人	14,149人	21,000人	67.4%
まちの清潔さに関する満足度※	53.1%	—	65.0%	—

地域で花や木を植える緑化活動に参加している人の割合※	18.5%	—	25.0%	—
地域、自治会等での環境美化活動に参加している人の割合※	72.2%	—	85.0%	—

※環境基本計画策定時に行った「環境市民アンケート」の数値であり、アンケート実施年のみ値有り。